

連合山形「2017新春旗びらき」を開催

— ホップ、ステップ、ジャンプ!で山形から政治を変える1年に! —

1月4日、連合山形・連合山形地域協議会合同開催による「2017新春旗びらき」が大手門パルズにおいて開催され、約300名が集まり新たなスタートを誓い合いました。

主催者を代表し挨拶に立った連合山形岡田会長は、「混迷する時期だからこそ、原則に帰って組合員の期待に応える運動を作っていこう!」とし、賃金引上げと雇用安定の取り組みや安倍政権の暴走に対する院内外での大衆運動の構築、そしてその大衆運動を背景に政治闘争を闘い抜こうと提起。去年の参院選をホップ、今年の知事選をステップ、来る解散総選挙をジャンプと位置付け、「ホップ、ステップ、ジャンプで山形から政治を変えていこう!」と挨拶しました。

来賓を代表し、吉村美栄子山形県知事、齋藤順治山形市副市長、近藤洋介民進党山形県連会長、広谷五郎佐エ門社民党山形県連代表代行、舟山康江参議院議員の5名より祝辞をいただき、翌日告示となる山形県知事選挙に出馬予定の吉村知事は、「今年は酉(とり)年なので勝ちをとりに行きたい。県民のための県政に全身全霊で取り組んでいく」と決意を述べられました。また、来る解散総選挙に立候補予定の1区荒井寛氏と3区阿部寿一氏が、この日開催された連合山形第2回執行委員会において推薦決定されたことが紹介され、両名が決意表明を行いました。

来賓者による鏡開きのあと、相浦亮司山形労働局長の発声で乾杯を行い、会場は終始和やかなムードで、みなさんが歓談されていました。

祝宴の後、連合山形岡田会長と連合山形地域協議会五十嵐議長によるガンバロー三唱で、連合運動のさらなる前進を誓い、団結を確認しました。



知事選への決意を語る
吉村知事



1, 2, 3区の推薦候補者と固い握手

2017連合山形春闘討論集会

日時 2017年2月9日(木) 14:30
会場 大手門パルズ

年 頭 挨拶

連合山形会長 岡 田 新 一



新たな年を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

第1に、今春闘を通じた働く者の賃金引上げと雇用安定に向けた取り組みです。

特に、企業全体の9割を占める中小企業に働く労働者の賃金引上げがなければ

デフレ脱却や格差是正、全体の底上げは成しえません。連合山形としては、中

小企業に働く労働者の賃金引上げ、大企業と中小企業の格差是正に全力を挙げて取り組みます。そのために、「より多くの組合の要求書提出、交渉、回答・妥結」など中小労組に対する支援・連帯の取り組みを強めていくとともに、経営側との対話を強め、行政に対しては一層の中小企業に対する支援を求めています。また、働く者の賃金改善に向けて中小企業の活性化が必要であり、そのための地域活性化、地方創生などを課題として、「地域活性フォーラム」を開催し春闘の社会的役割を広げていきます。

第2に、安倍政権の「暴走」する政治に歯止めをかけるべく大衆運動の展開についてです。安倍政権の暴走はとどまることを知りません。一昨年9月、多くの国民の反対の声を全く無視して、集団的自衛権行使を可能とする「安保法」の採決を強行しました。昨年秋の臨時国会ではTPPの承認を強行し、高齢者の生活に重大影響を与える「年金カット法案」やギャンブルを合法化する「カジノ法案」も採決を強行しました。今日、平和のうちに人間らしく生き続け働き続けられる労働環境と、安心・安全・信頼の「持続可能な社会」に向けた年金、医療、介護、子育て、教育などが国民の願いであります。しかし、安倍政権の政策は、大企業と大都市の利益優先と「戦争する国づくり」が基本です。今こそ、平和を守り、地方切り捨て・高齢者切り捨て、中小企業切り捨て、弱者切り捨てを許さず、安倍政権の「暴走」する政治に歯止めをかけるべく大衆運動の展開が重要です。

第3に、政治闘争の取り組みです。年明け早々の県知事選挙について、結果として無投票で吉村知事3期目当選を果たすことができました。御礼申し上げます。「無投票」に対してマスコミなど色んな評価がありますが、いずれにしても自民党が候補者を擁立できなかった結果として政策論争無しの無投票であります。厳粛に受け止めていきたいと思えます。そういうなかで、吉村知事は3期目の具体的施策推進をどう図るかが課題であり、連合としても、1期目からの推薦団体として責任があるわけですので、政策的には公約の実行と知事の政治姿勢など意見を言うべき時には意見を申し上げながら支えていきたいと思えます。

そして、解散総選挙について、今年の秋にも想定され、「常在戦場」の構えで取り組んでいきます。連合山形としては、1区・荒井寛氏（民進党公認・新人）、2区・近藤洋介氏（民進党公認・現職）、3区・阿部寿一氏（民進党推薦・新人）について、推薦することを決定しました。

安倍政権の暴走する政治に歯止めをかけるために、地方から政治を変えるために、昨年7月参議院選挙を「ホップ」、今年1月の知事選挙を「ステップ」、今年に秋にも想定される解散総選挙を「ジャンプ」と位置付けて、3候補の必勝に向けて全力を挙げて取り組もうではありませんか。

今年一年、実り多き年となりますようご祈念申し上げます。挨拶とします。



山形県知事選挙

吉村みえこ氏が3選果たす!

1月5日、任期満了に伴う山形県知事選挙が告示され、無所属現職の吉村美栄子氏の他に届け出がなく、吉村氏が前回に続き2期連続無投票で3選を果たしました。ご支援いただきました組合員の皆様に深く感謝申し上げます。

事務所に駆け付けた支援者とともに万歳三唱をし、吉村氏は、「感謝の気持ちと同時に、これからしっかりとやまがた創生を実現していかなければならない責任がある」として、「県民のための県政、県民と共に未来の山形県を築いていく」と、力強く決意を語りました。

翌早朝には、山形市鉄砲町の交差点において通勤中の方々に手を振りながら挨拶をしました。



当選翌朝、交差点であいさつ

山形県議会議員西村山郡区補欠選挙

松田としお氏、自民推薦候補を破り初当選!

前県議の辞職に伴い22年ぶりの選挙戦となった県議西村山郡区補欠選挙は、連合山形が推薦する前大江町議で無所属・新人の松田敏男氏が、前朝日町議で自民新人の候補者を破り、初当選しました。



松田氏は大江町出身で、1995年の大江町議選で初当選し、6期務めました。議会運営委員長の他、吉村美栄子知事の大江町後援会で幹事長を務めています。

近藤洋介衆議院議員、舟山康江参議院議員らが支援し、吉村知事も支持表明して応援しました。松田氏は、「これまで22年間大江町で育てていただいた御恩を、今度は吉村知事を支え、県政の舞台で活躍し返していきたい」と決意を語りました。

松田 敏男	10,210	当選
阿部 正明	8,865	

連合山形「2017春季生活闘争方針」を決定！

— 月例賃金の引上げにこだわり、2%以上の賃上げを！ —

連合山形は、2017春季生活闘争方針について決定し、月例賃金にこだわる闘いを進め、賃金カーブ維持相当分を確保し、過年度物価上昇分はもとより、生産性向上分、格差是正分としての賃金改善分2%以上の要求を掲げ、「底上げ・底支え」「格差是正」に全力をあげる、としました。

また、各課題の具体的取り組みとして、(1)「底上げ・底支え」「格差是正」にこだわった月例賃金の引き上げ、(2)非正規労働者の労働条件改善等の取り組み、(3)連合山形加盟全労働組合要求書提出への支援強化、(4)賃金制度の未整備組合の制度確立・整備、(5)長時間労働削減によるワーク・ライフ・バランスの実現、の取り組みを掲げています。

1. 「地域ミニマム運動」への取り組み

地域間や企業間の格差是正と県内賃金水準の底上げをはかり、低賃金県からの脱却をはかるために、最低基準（ミニマム）を設定し、県内では「これ以下では働かない。働かせない」運動を展開していく。

2. 連合山形の賃上げ要求内容

(1) 2016年連合山形中小組合賃金実態調査結果より、平均賃金246,052円の2%は約5,000円であるが、連合加盟組合全体平均賃金水準の2%相当額が6,000円であることから、その差額1,000円を格差是正分として上乗せした金額6,000円を賃上げ水準目標とする。

賃金カーブ維持分 + 賃上げ6,000円以上

- (2) 賃金カーブ維持分の算定が可能な組合は、その維持原資を労使で確認する。
- (3) 賃金カーブ維持分の算定が困難な組合は、賃金カーブ維持相当分を4,500円とし、4,500円+賃上げ6,000円の10,500円以上を要求する。
- (4) 年齢ポイントごとの「標準到達目標」および「最低到達目標」は右のとおり
- (5) 非正規労働者の時間給目標額および引き上げ目標額
時間あたりの賃金目標値
900円以上 [山形県の連合リビングウェイズ額（所定内労働時間数換算）]

ミニマム設定額

年齢	2017年設定額
18歳	143,300円
20歳	149,600円
25歳	164,000円
27歳	169,300円
30歳	176,700円
35歳	187,800円
40歳	197,600円
45歳	206,100円

【連合山形の標準到達目標】

	全産業
20歳	169,900円
25歳	211,100円
27歳	227,100円
30歳	250,500円
35歳	287,000円
40歳	319,300円
45歳	346,000円

【連合山形の最低到達目標】

	全産業
20歳	160,100円
25歳	182,100円
27歳	191,100円
30歳	204,500円
35歳	226,000円
40歳	245,400円
45歳	261,400円

2017春闘に向けた「産別懇談会」を開催

2017春闘を前に、1月16日大手門パルズにおいて、民間労組の産別代表者が集まり、(社)山形県経済社会研究所の高木郁朗顧問がコーディネーターとして、各産別の2017春闘をめぐる情勢や方針、山形地域としての取り組みなどについての懇談会が開催されました。出席者からは、「人材がなかなか集まらずに人手不足が続いており、人材確保や育成のためにも賃金制度確立や賃上げが必要」などの意見が出されました。

出席者は、佐藤篤志自動車総連山形地協議長、佐藤修一JAM南東北山形県連事務局長、角谷俊一U Aゼンセン山形県支部長、井上雄吾電機連山形地協議長、古川和彦情報労連山形県協議会事務局長、青木孝典運輸労連山形県連書記長、高木郁朗(社)山形県経済社会研究所顧問、立松潔(社)山形県経済社会研究所所長、遠藤吉久(社)山形県経済社会研究所専務理事、館内悟連合山形副事務局長、柏木実連合山形組織広報部長。



連合山形シンクタンク(一社)山形県経済社会研究所 「第44回定時総会」・「年報発表会」を開催

12月14日、連合山形のシンクタンクである(一社)山形県経済社会研究所の第44回定期総会と年報発表会が大手門パルズにおいて開催されました。

総会では、2016年度の事業報告ならびに会計決算報告、2017年度事業計画ならびに収支予算について承認され、新任理事として遠藤吉久氏、大泉敏男氏、監事に設楽正氏が選出されました。梅津庸成専務理事が退任し、後任として遠藤吉久理事が専務理事に就きました。

総会后、2016年度に発行された年報の発表会が開催され、山形大学名誉教授で経済社会研究所所長の立松潔氏より「地方創生と山形県経済」、いわき明星大学講師の末松茂氏より「若年労働力と学卒労働者育成の問題」、日本女子大学名誉教授で経済社会研究所顧問の高木郁朗氏より「一億総活躍社会と山形県」と題した講演が行われました。



労使共催で 「山形県労使共同セミナー」を開催

12月13日(火)大手門パルズにおいて、(一社)山形県経営者協会と連合山形共催による「山形県労使共同セミナー」が開催され、約100名が参加しました。今年度のセミナーは、ふたりの女性講師を招いての開催となりました。

第1部では、「『プラチナくるみん』の取り組み」と題して(株)山形銀行人事総務部副調査役の村岡可奈子氏が、厚生労働省から「子育てサポート企業」として認定されている企業の中で、山形銀行がより高い水準の「プラチナくるみん」を全国で初めて認定されたことを紹介し、その取り組みについて講演されました。

第2部「ワーク・ライフ・バランス～これからの働き方、生き方～」と題して(株)ジョインセレモニー常務取締役の武田靖子氏が講演され、従業員の士気を高め満足度の高い選ばれる企業をめざす上でもワーク・ライフ・バランスが大切で、働き方改革が必要であるなどと講演されました。



(株)山形銀行の村岡可奈子さん



(株)ジョインセレモニーの武田靖子さん

山形県高退連

「2017新春旗開き」を開催

1月20日(金)、大手門パルズにおいて、山形県高齢・退職者連合の「2017新春旗開き」が開催され、会員の他、連合山形岡田会長、設楽事務局長が参加され、元気に開催されました。

はじめに、伊藤寛県高退連会長が、「組織拡大に努め、高齢者、退職者の住みやすい街づくりに頑張りましょう」とあいさつ。次いで、連合山形岡田会長は、「春闘では、格差是正に取り組み、賃上げを勝ち取り、参議院選挙での勝利と知事選の勝利を来る解散総選挙の勝利につなげていきましょう。」とあいさつしました。

乾杯後、にぎやかに歓談しながら、お互いの健康を喜び元気に活動していこうと、2017年度のスタートとなりました。



(公財) 山形県勤労者育成教育基金協会 利子補給制度対象商品

ろうきんの
教育ローン
といえば

ふるさと奨学ローン

利子補給制度で年間最大6万円補給！

口座開設特典プレゼント実施中！

入学金や授業料、仕送りやアパート代に！

好評
受付中

キャッシュカードを2枚発行
して仕送り手数料を0円に！

※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

未来の
応援
の
主役
たち。
応援
します。



東北労働金庫山形県本部

0120-1919-62
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

ZENROSAL NEWS



0616A034

カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済

自動車総合補償共済

頼れる補償をお望みの方も、
安全運転が長い方も、
マイカー共済です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済山形県本部 〒990-0827 山形市城南町1-18-22

(山形県勤労者共済生活協同組合) TEL 023-646-4666 (代)

2017年2月～4月 お見積もりキャンペーン実施中！



頼れる窓口

営業 9:00～17:00
(土・日・祝日除く)

中央支所

〒990-0827 山形市城南町1-18-22
TEL.023-646-4666

新庄支所

〒996-0084 新庄市大手町5-6
TEL.0233-23-5995

酒田支所

〒998-0851 酒田市東大町2-6-8
TEL.0234-23-3160

鶴岡支所

〒997-0033 鶴岡市泉町8-73
TEL.0235-23-6100

米沢支所

〒992-0012 米沢市金池3-2-7
TEL.0238-22-6065

長井支所

〒993-0006 長井市あら町5-36
TEL.0238-83-6035